

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）に対する 市民意見提出手続の実施結果

1 意見募集期間

平成27年8月12日（水）～平成27年9月11日（金）

2 意見提出状況

(1) 提出者 28人・団体

(2) 提出意見数 97件

(3) 提出方法

ア 持参 2人・団体

イ 郵便 2人

ウ FAX 2人・団体

エ 電子メール 22人・団体

(4) 提出意見の内訳

分 類 名	件数
総合戦略全般にかかるもの	19
総合戦略の政策パッケージ	67
I 北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする	(21)
II 北九州市への新しいひとの流れをつくる	(16)
III 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(9)
IV 時代に合った魅力的な都市をつくる	(17)
V 地方創生推進のための国の施策への対応 (特区・税制・政府関係機関誘致など)	(4)
その他	11

(5) 総合戦略への反映状況

分類名	件数	割合
① 総合戦略に掲載済	32件	33.0%
② 総合戦略の追加・修正あり	9件	9.3%
③ 総合戦略の追加・修正なし	36件	37.1%
④ その他	20件	20.6%
合計	97件	100%

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）		① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他		
No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
総合戦略全般に係るもの				
1	大好きなまち北九州市のため、次の世代を育てることが大事。一人でも多く、若い世代が住める環境を作り、次世代につなぐのが自分たちの使命だと思うし、そんなまちをつくる一員になりたい。	ご意見のとおり、総合戦略を着実に推進してまいります。	1	④
2	総合戦略は現在北九州市が抱える課題と特色・強みを踏まえた総合戦略として整理されている。	総合戦略の策定につきましては、本市の現状などを確実に把握するために調査を実施するとともに、北九州市まち・ひと・しごと創生有識者会議及び産業界、官界、学界、金融機関、労働機関、言論機関に住民代表を加えた北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会を設置し、様々な意見をいただきその意見等を反映させていただきました。今後も総合戦略を効率的かつ着実に推進してまいります。	1	④
3	北九州市の現状と近い将来の予測を説明する部分がよくまとまっている。これをわかりやすい形で市民に提示し、現状と近い将来について正確な認識をしてもらうことも重要だ。		1	④
4	総合戦略の施策について、現在利用可能な資源を考慮して現実的な計画を作ることに留意されたように感じ、この観点はよいことだと思う。		1	④
5	地域活性化に対する北九州市の取り組みは以前より目を見張るものがあったが、最近はさらに拍車がかかっているように感じる。アジアに対する環境インフラの輸出や国内におけるエネルギー産業への取り組み、さらには都市のリノベーションの取り組み、ダイバーシティの推進等企業から個人レベルに至るまで実に幅広くあらゆることに挑戦してもらっている。		1	④

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）		① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他		
No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
6	総合戦略はまとまっているものの、北九州市の特徴がほとんど見られない。北九州市を他の政令指定都市・中核市に置き換えてもほぼこのままで読めてしまう。	地方創生は、我が国の人口減少といった共通の課題に取り組むもので、本市では、国の方針と一体的な対応を行うものとしています。また、本市の人口問題の構造的課題の解決に資するものとして地方創生を重要な政策と位置づけており、基本方針として「女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、地方創生の成功モデル都市を目指す」を掲げるなど、本市の実情に応じた総合戦略としております。具体的な施策の中に、「ものづくり」、「環境・エネルギー」、「北九州空港」、「シックプライド」を本市の特色として盛り込んでおります。なお、総合戦略の策定にあたっては、本市の現状などを確実に把握するために調査を実施するとともに、北九州市まち・ひと・しごと創生有識者会議及び産業界、官界、学界、金融機関、労働機関、言論機関に住民代表を加えた北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会を設置し、様々な意見をいただきました。今後とも戦略を効率的かつ着実に推進してまいります。	2	③
7	総合戦略が国の地方創生事業の事例に沿ったテーマの羅列であり、新規性がない。内容も現世代の人々の近未来の不安に対する希望的対策に見えるので、他の市区町村が提案するであろう内容と競合する可能性がある。内容が地方創生予算を得るためのテーマに見えて事業の実現性・継続性をみたときに後世代の市民に地域価値を残せるのか。		2	③
8	何か軽い違和感を感じるが、それぞれの事業名等の事業計画がタテ割りの所管部局ごとにすまして並んでいる。総合戦略とうたわれているのに総合とは感じえない、部分最適の集合体のように思える。「まち・ひと・しごと」の領域は複合的な要素で成り立っているので、それをタテ割りの概念で進めるには、もはや限界にきているのではなかろうか。総合戦略の全てが経済指向そのものに感じられる。「地方創生」は地域の持続可能な未来づくりにつながる、未来づくり志向で市民の気持や心に届くような、響くようなものになってもらいたい。		2	③
9	現状認識ができていない。人口減少・高齢化・新興国との競争・IoTは米国企業など昔とは様変わりしている。したがって、地域活性化で、これまでのように、中央政府から地方まで素人が集まっても成果が出る時代ではない。大学など専門人材を活用するためには個別に地域を想う人達を“一本釣り”でチームにしたらよい。		2	③
10	地方創生は画一的（プレミアム商品券、ふるさと納税等）なものが目立っているが、北九州オリジナルな総合戦略により是非働く年代層を厚くして、活力を取り戻して頂ければと思う。		2	③

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
11	10年後の目標に向かって種まき(施策)をおこなっていかなくてはならない。	ご意見のとおり、長期的なビジョンなど考えた上での計画づくりは非常に大切でございますが、総合戦略は平成27～31年度までの戦略としております。 長期ビジョン、計画に関しては、本市基本構想・基本計画である『「元気発進！北九州」プラン』、都市計画に関しては「北九州市都市計画マスタープラン」などの計画があります。 ご意見いただいた点につきましても、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	③
12	将来（10年後、20年後）の世界、日本の動向を踏まえ、その中で北九州市がどのようなポジションを保てるのかを考えてはどうか。		2	③
13	総合戦略を国内のほかの地域との差別化を図るためには、「北九州市の魅力・強みをいかに対外的に発信し、当市への吸引力を高めるか」また、「現在住んでいる住民にどのように暮らしやすさを認識してもらうか」の観点から、今後は各地域の特性をいかした機能分化、人口減少・財政の効率的運営を踏まえたコンパクトシティ化を前提にした次の50年に向けたランドデザインをどこまで詰めることができるのか非常に重要である。		2	③
14	市政において、これから市民あるいは地域住民の一層積極的な参加が必要となるが、市民は行政においては素人である。市民が市政に参加するには「20年、50年、100年後の北九州市の姿を市民が具体的にイメージできるための何らかのサポート・ツール」が必要だと思う。例えばさまざまな情報を入力すれば、今後の北九州市の立体図、航空写真などが分かるようなものがあれば、市民もわかりやすいと思う。		2	③
15	総合戦略ができてきたので、これからのポイントになるのは、産官学金労言・議会・住民による協議会のような推進体制をしっかりと維持した上で実効性のあるものにするためPDCAサイクルを機能させることが重要になる。		2	①
16	総合戦略の対象範囲が広いので、既存の施策の評価結果を踏まえ、各政策の勝算（目標達成の難易度）について示していただくと、計画実施期間の途中での成果モニタリングに役立つと思う。		2	①
17	地域を超えたヒト・モノ・カネ・情報の交流を高めるためこれらを指標化し、毎月、公表すべきだ。		2	③

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

<p>【意見の内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等） 	<p>【意見の反映結果】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他
---	--

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
18	北九州市に必要なものは事業の『継続性』である。単発のものではその瞬間だけのものであり、北九州市が活性化したわけではない。新しいことを生み出すことも大事ではあるが、今あるものに目を向けてそれを活用することで、「北九州市＝〇〇」と掲げることができ、そうしたことでシビックプライドの醸成の第1歩につながると思う。	ご意見のとおり、各事業における継続性が重要となりますので、着実に推進してまいります。	2	③
19	人口減少社会で人口増を期待することは難しい。勇気のいることだが2050年に人口を50～70万人に設定した未来づくりを考える、行うことも必要ではないだろうか。健全な人口構造を目指しながら。	総合戦略では、本市の人口問題の構造的課題の解決に資することを重要な政策と位置づけており、基本方針として「女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、地方創生の成功モデル都市を目指す」を掲げています。 ご意見につきましては、まずはオール北九州による多方面からの地方創生の取り組みを行うことで、社会動態をプラスに転じさせ、人口減少のスピードを緩めることに挑戦していき、将来にわたって活力ある北九州を維持していくこととしています。	2	③

総合戦略の政策パッケージ

I 北九州市にしごとをつくり、安心して働けるようにする

20	現在就職活動をしているが、北九州市に希望する仕事がないということと、どんな企業があるのかあまり知らないことがわかった。総合戦略にも記載されているように学校と連携し、北九州市での就職を促進する取り組みは非常に有効だと思う。	総合戦略の中で、「小・中学生・高校生に対する地域の魅力発信、地元企業をよく知ってもらうための体験イベント等キャリア教育の推進」を施策に掲げております。 その中で、中高校生や大学生、保護者、教員等を対象に、地元企業の仕事内容や様々な職業の話を直接聞き、体験できるキャリア教育イベント「北九州ゆめみらいワーク」を開催するなど、地元企業の魅力や仕事を伝えていく取り組みを進めております。 また、地元企業が中心となり結成された小学校応援団により、児童、保護者、教職員を対象としたさまざまな分野の出前授業や講演等を実施しています。	1	①
21	学生が地元企業のことを知らないことと同様に教職員もあまり知らない。地域企業とのつながりが少ない。	引き続き、学校などと連携して地元企業の魅力発信に努めてまいります。	1	①

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
22	休みを取る自由度が中小企業にはない。土日の休みがない中小企業は、求人を出しても敬遠される。「3K」を嫌う若者が多い。これからのモノづくりを支えているのは、誰なのか。働く人が仕事に誇りを持たないで、「正社員にならず派遣社員でいい」と考えて生活している人が増えている。自分の仕事が日本を支えている誇りを持つような教育も必要である。	総合戦略の中で、「小・中学生・高校生に対する地域の魅力発信、地元企業をよく知ってもらうための体験イベント等キャリア教育の推進」を施策に掲げております。その事業として、「発達段階に応じたキャリア教育の展開」を行うこととしており小・中学校で連携しながら児童生徒の発達の段階に応じたキャリア教育を行うとともに、地元企業を知ってもらう取り組みを充実していきます。また、社会における自らの役割や将来の生き方、働き方等について考えさせる取組みを行っています。	2	①
23	地場企業の多くは雇用条件が厳しく、特に賃金が低い。当然、学生や保護者からしてみれば条件のいい方を選択し、結果として他の地域への社会流出につながってきた。地場大手等は全国展開等の関係もあるので給与面は全国水準に近く、希望者も多いが競争も高い。総合戦略案P20～22に取り上げられている支援と同時にもう少し踏み込んだ統合的な政策が必要ではないか。	ご意見のとおり総合戦略の中で、求人と求職のマッチング支援やキャリア教育の推進と同時に、高い将来性のある雇用の創出・ビジネスチャンスの一層の拡大を図ってまいります。また、総合戦略や新成長戦略を着実に推進することで、雇用拡大の取組を行うとともに、市民所得の向上や企業の成長を促してまいります。	3	③
24	若者の未来に対する不安の原因は、将来設計ができる所得がえられるかどうか、この先の社会状態を見通しにくいことが大きい。よって、結婚、出産、子育てまでつながりにくくなっている。生涯未婚率も年々高まっている。結果として、少子化と人口減少傾向から脱せない負の連鎖の課題を抱える国、地域社会になっているようだ。	様々な要因が絡み合っている人口減少に対応するため、4つの柱からなる政策パッケージの各事業を着実に推進していきます。また、総合戦略の中で、北九州市での一生涯のロールモデルを提示しております。	2	①
25	小倉駅に北九州市内企業の技術力などを紹介する北九州PRコーナーを設置してほしい。	総合戦略の中で、「新成長戦略の積極的な推進」を施策に掲げております。新成長戦略のリーディングプロジェクトの一つである「地元製品・サービスの利活用の推進」を図るため、現在までに銀行等の公共的な場所で地元企業の優れた製品を展示する「街かどショールーム」を開催しています。ご意見につきましても今後の取り組みの一つとして参考とさせていただきます。	2	③

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
26	高齢者に対して、個人差はあるが健康年齢までは、その人の能力・体力・健康力にあわせて働ける場を創り出していったほうがよい。また、必要に応じて公共職業訓練施設等とタイアップできる仕組みをつくり、多様な働き方ができるようにする。労働時間は2～6h/日、18～24h/週程度を標準とする。これから生じる労働力不足を補完する役割と年金受給年齢の繰り下げが見込まれる。健康年齢の間は就労することで所得を維持しながら、軽い納税を負担し、社会生産活動等で医療・介護費等の軽減を図る。高齢者社会活用の制度を検討していただきたい。	総合戦略の中で、「中高年齢者が地元でいきいきと働き続けられるための取組」を施策に掲げております。また、アクティブシニアの活用につきましても、地方創生特区（国家戦略特区）の中で、アクティブシニアの職探しをサポートするために、ハローワーク求人に係る高齢者年齢制限の引き下げを可能とする雇用対策法の緩和を提案しています。ご意見につきましては、今後の事業を進める上での参考とさせていただきます。	2	③
27	北九州ではメガ高齢社会を迎えるようなので、あらゆる視点で高齢者への尊厳をもった生き方を追求するとともに、特にアクティブシニアの活用できる、また社会負担をしてもらえる社会システムを積極的に多岐にわたって模索するべきである。国の政策や他の事例を待つことなくオール北九州でトライアルすべきだ。		2	③
28	企業誘致や国内・国外の観光客誘致には北九州空港の就航便の増加が不可欠。北九州市へ入るひとの流れをつくるために、是非新たな就航先を見つけていただきたい。	ご意見のとおり総合戦略の中で、「24時間利用可能な北九州空港の強みを活かした大規模な集貨・集客」を施策に掲げております。この中で、「国内・国際線の路線誘致を図り、空港利用者数の飛躍的増大を目指すための取組」を進めることとしており、目標達成に向けて積極的に取り組んでまいります。	2	①
29	北九州空港の強みを活かした大規模な集貨を実現するためには、大規模なトラックターミナルの新設、高速道路、港、鉄道等の連携が必要となる。空港は門司側にも連絡橋が必要では。他都市とのアクセスや安全上のルート確保。	総合戦略の中で、「24時間利用可能な北九州空港の強みを活かした大規模な集貨・集客」を施策に掲げております。この中で、「今後の貨物の需要増大に対応するための空港施設等の拡張・再整備」を進めることとしています。ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	①

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）		① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他		
No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
30	<p>起業について「趣味の延長で考えている人」と「ビジネスをしたいと考えている人」では、事業運営に関する考え方に落差がある。ただ起業させるだけでなく、事業継続できる企業を審査して合格した企業に対して支援すべきである。</p>	<p>地域経済の活性化や雇用の拡大のためには、新たな企業が次々と生まれる必要があります。</p> <p>また、独創的な技術やビジネスモデルを持つ創業者（ベンチャー企業）は、本市の産業に活力を与えるとともに、新産業創出の重要な担い手となるものと認識しています。</p> <p>よって本市では、市内外から起業家の集積を図り、効果的な起業を促進するため、総合戦略の中で「計画段階当初から、実際に開業しようとする段階、開業後の成長段階など、それぞれの段階に応じた支援」を施策として掲げています。</p> <p>ご意見につきましては、今後、施策を進める上での参考とさせていただきます</p>	2	③
31	<p>世界で秀でている方をさがして北九州で起業してもらおう。地域はバックアップに徹した方が良く、これぐらいの壮大なビジョンをつくるべき。小粒なものでは仕方がない。</p>	<p>市内外から挑戦意欲のある起業家・事業者を集め、事業化へ導くことで、時代・地域の要請に応える新たな企業を創出するために、北九州市創業支援事業計画に基づく、創業セミナー（スクール）、窓口相談、専門家派遣の実施や、インキュベーション施設の整備等を進めています。また、本市の起業環境を市外の方にも広く認知してもらうためのセミナー・イベントも開催しています。今後は、これらの取り組みを進め、優れた起業家の集積を図ります。</p>	2	③
32	<p>ロボットはこれまでの取組がなぜうまくいっていないのか、うまくいさせるためにはどうすればよいのかといった分析をまずはすべき。</p>	<p>ロボット産業につきましては総合戦略の中で、「国が2020年までに達成を目指すこととしている、製造分野での市場規模2倍、非製造分野で市場規模20倍に貢献する研究・実証拠点の形成、及び関連産業の集積」を施策に掲げております。</p> <p>現状の具体的な取組としましては、地元企業の生産性向上に資する産業用ロボット導入支援のほか、介護・生活支援ロボットやインフラ点検ロボット等のサービスロボットの開発・実証支援に取り組んでおり、いずれも一定の成果が上がっていると考えています。しかしながら、今後産業として発展していくためには様々な課題があるのも事実であり、こうした課題の整理と解決策の検討・実施を通じて、ロボット産業の振興に取り組んでいきます。</p>	2	③

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
33	新産業分野の掘り出しとして、日本以外の国が真似できない産業は、水と長寿を組み合わせた産業である。それ以外にも湿潤な気候で水が豊富なことから人体の大腸に効果のある「菌」の開発・実用化。ヨーグルトなど、〇〇菌を食品に入れることで、高付加価値の商品を生み出す。千葉県神崎町は、菌の力を使って、町おこしに成功している(発酵・微生物産業)。	新産業創出に向けての取り組みにつきましては、総合戦略の中で、「リーディング産業の振興を加速化」を施策に掲げております。ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	③
34	農地集約・法人化による単位面積当たりの収益性、競争力の向上を提案する。	農地集約につきましては、「人・農地プラン」、農地中間管理事業の活用や、利用権設定により担い手への農地集積・集約化を推進しています。また、法人化につきましては、雇用環境を維持できる栽培形態の検討、情報提供、ICTの活用等、法人化に向けた取り組みを支援しています。	3	③
35	農水産物、酒類など高付加価値商品の開発と官民一体となった販売促進、輸出などを検討していただきたい。	「北九州の食の魅力創造・発信事業」の中で、ご指摘の食品・酒類の高付加価値商品の開発や、官民一体となった販売促進、輸出支援などに取り組んでまいります。	3	③
36	21世紀はエネルギーの時代である。水素のような絵に描いた餅は、補助金ビジネスとして一つの柱にするのは良いが、むしろ実用化の可能性のある風力エネルギーの分野に集中したほうがよい。また、風力は部品点数が数千点あるため、自動車部品メーカーの次の仕事への安全保障にもなるだろう。	ご意見のとおり総合戦略の中で、「今後の成長が期待される風力発電産業などのエネルギー産業拠点の形成」を施策に掲げております。この中で、風力発電関連産業の集積を進めることとしており、目標達成に向けて積極的に取り組んでまいります。また、風力発電など、再生エネルギーから発電した電力の系統への接続は、今後、ますます制限されることが予想されます。余剰分を水素に変換し貯蔵することで、得られたエネルギーを無駄にしない仕組みをつくるなど、風力発電と水素の取り組みを連携させて今後も進めてまいります。	2	①
37	「先端的水素社会づくり」において水素製造過程でCO2発生がどの程度発生しているのかを明確にし、また仮に水素の輸入においても製造国でCO2の発生量を明確にする必要がある。北九州が「環境」をブランドにするならば、製造時のCO2発生についても考えるべきで、水素利用のメリットばかりを強調するかどうか。	ご意見のとおり総合戦略の中で、「先端的水素社会づくり」を施策に掲げており、この推進にあたりましてはCO2削減を念頭に事業に取り組んでまいります。また、ご指摘のとおり、水素製造の手法によりましてはCO2が発生する場合がありますが、研究・実証などを重ね、再生可能エネルギーで発電した電力を用いて製造した水素や、地域で発生する副生水素を活用するにより、CO2の発生を抑えることができると考えています。	2	③

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
38	新社会(スマートシティ)創造によるアジア規模の都市展開について、北九州の強みを更に質の高いものにしていただきたい。	ご意見のとおり、今後とも積極的に事業を推進してまいります。	1	①
39	市内にある各種産業、重工業から環境・エネルギー・水に至る産業を目玉に、アジア圏、特に東南アジアの海外人材、特に何かを学ぶ意欲のある人材を積極的に受け入れ、これら人材を育成し、またこれら人材との繋がりを維持していく事により、賑わいを有する東京・大阪とは違う日本有数の国際交流都市となれば、おのずと人が多く集まる事により経済は活性化し、若者から年配の方まで安心して過ごすことができる。 特に年配の方については海外からの人材に対しても含めて技術伝承の役割を果たすべく働いてもらえれば、更なる経済活性化が期待できる。 総合戦略における海外関連の項目については全面的に賛成する。 ただ、この戦略項目に受入施設の拡充や体制の強化、言葉、習慣に対する理解・対応や居住地区の絶対的理解が必要となるので、是非行政側がしっかりと戦略を練っていただきたい。	総合戦略の中で、「新社会（スマートシティ）創造によるアジア規模の都市展開」を施策に掲げております。また、「アジアからの人材受入育成拠点の形成による1万人の人材の呼び込み」、「外国人が住みたくなる環境の整備」を施策に掲げており、行政のみならず市民・企業・関係機関等の協力などが不可欠でありますので、相互に連携を図りながら目標達成に向けて積極的に取り組んでいきます。	1	①
40	水道運営・ゴミ焼却等公営事業の官民一体となった輸出の強化をしていただきたい。	ご意見のとおり総合戦略の中で、「環境、水などアジア諸都市のニーズが高い分野のハード・ソフトの都市インフラをパッケージでまるごと輸出」を施策に掲げております。目標達成に向けて積極的に取り組んでいきます。	2	①
II 北九州市への新しいひとの流れをつくる				
41	首都圏などからの北九州への大規模な人材還流のうち北九州市への流れをつくるため、コムシティ、ひびしんホール、図書館などの公共施設や交通機関が集約し、医職住がコンパクトにまとまり生活の利便性の高い黒崎地区をモデル地域としてさらなる環境整備の充実を図ってほしい。そうすることが北九州への新しい人の流れをつくれる起爆剤になる。	コンパクトなまちづくりにつきましては、総合戦略の中で、「都市のコンパクト化の推進と周辺等の交通ネットワークの充実」を施策に掲げております。 ご意見いただいた点につきましても、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	①

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
42	公園に植樹やアスレチックなどを取り入れることで新しい公園を作ることなく子どもや大人も分け隔てなく、自然と触れ合うことができるまちづくりをしていただけると家族世帯の定住が進むのではないかと。	本市では「地域に役立つ公園づくり事業」を推進しており、幅広く地域の意見を聞きながら、地域のニーズにあった公園へ再整備を行っています。ご意見につきましても、今後の事業の参考とさせていただきます。	2	③
43	福岡県周辺の広域的な状況も考慮したものでできればさらに戦略の現実性が増す。例えば、子育て環境のよい北九州市に住んで福岡市のサービス業種の企業に通うといった生活スタイルも認めて良いような気がする。	総合戦略の中で、「北九州に住んで、福岡圏に通勤・通学するライフスタイルへの支援の検討など北九州市に住みたいと思う転入者を応援する仕組みづくり」を施策に掲げております。ご意見につきましては、今後施策を進める上での参考とさせていただきます。	2	①
44	日本全体で人口減少・高齢化は避けられないとして、その中で、どういう理由でどの年代の人の移住を促すのか。現状の案では、若い人も高齢者も両方という提案になっており、優先順位がわからない。	総合戦略の中で、日本版CCRCを含めた定住・移住施策を検討することとしています。また、雇用、住宅、子育てなど多岐にわたる施策を総合的に検討するため、9月1日付で本市に「定住・移住促進担当ライン」の組織を新設し、副市長をトップに「北九州市定住・移住推進本部」を設置しました。定住・移住施策につきましては、ご意見をいただきましたとおり、北九州市に移住を考えている方に対する仕掛け、情報発信が大切になります。さらには、受け入れるための環境整備も求められます。このため、こうした様々な状況等を整理した上で、これから施策をオール北九州で進めていきます。	2	②
45	首都圏からのアクティブシニアの移住について、アクティブシニアにも子どもがいれば、そうでない人など様々な家族形態があると思うがそうした人に応じた移住支援メニューが必要である。例えば、子どもに定期的に会えるよう首都圏への航空機代を優遇するなど。		2	②
46	東京圏からの若者の移住について、教育環境の整備、その先の就職の流れをモデル化して具体的にわかるようにする必要がある。		2	②
47	移民受け入れ加速を念頭に、病院・老人ホーム集約など先進的な総合福祉施設等を設置してはどうか。		2	②
48	日本版CCRC(北九州モデル)の検討では、北九州市民の高齢者が「下流老人」にならないようないきいきとした暮らしができる現状をみせて、北九州は高齢者を大切にすることを強みにすることが重要であり、そうする必要がある。北九州市には病院、介護施設、大学、文化施設があるということだけを売りにしてはならない。高齢者富裕層を対象にするビジネスよりも、この北九州市で一緒に生活してみませんかという視点を失うことなく検討をしていただきたい。		2	②

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
49	北九州市民はイベントが好きのように感じている。総合戦略にもあるが、イベントの情報を様々なツールを用いて若者からお年寄りまで幅広く伝えることができれば、参加者も増え経済効果にもつながると思う。	総合戦略の中で、「国内外からの観光客増に向けた情報発信の強化」を施策に掲げております。ご意見のとおり市民の誰もが分かるように、市政だより、市ホームページなどでの情報提供をはじめ、「観光情報WEBサイト」を活用した国内外の方への情報発信にも努めてまいります。	2	①
50	KPIにも関わってくると思われる話であるが、集客に向けた取り組みにおいて「宿泊」にも言及した方が良いのではないか。	総合戦略の中で「外国人観光客倍増など市外からの観光客増に向けた取組」観光客数及び宿泊者数に関するKPIを設定しております。今後とも宿泊者も含めた観光客増加に努めてまいります。	3	③
51	集客に関しては、北九州はホテル客室数が少なく、大型のホテルも不足している。	ご意見につきましては、民間事業者の動向や、宿泊施設の稼働状況の把握に努めるなど、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	③
52	都心部における交流人口増に向けた取組について、お金を使わない、消費を強いることのないホットな都心空間の形成についても検討してもらいたい。	ご意見につきましては、今後事業を進める上で参考とさせていただきます。	2	③
53	東京ガールズコレクションが小倉駅周辺で開催されるとのことで、駅周辺の活性化の起爆剤となるのでフィルムコミッションの活動も含め引き続きにぎわい創出に努めていただきたい。	総合戦略の中で、「都心部における交流人口増に向けた取組」を施策に掲げております。これに基づき、「東京ガールズコレクション」やマンガ・アニメ等ポップカルチャー関連大規模イベントなど、街に新たな集客誘引のあるイベントを開催し、にぎわいの創出を図ってまいります。	1	①
54	集客誘引のムーブメントを起こすイベントで3つほど挙げられていて、特に東京ガールズコレクションの北九州市での開催はとても魅力的で、有名なイベントであるので興味がある。ただ一回限りのイベントではもったいないので、継続して行ってもらいたい。また、準備段階で学生に広報などを任せるといった活用を考えていただきたい。	イベント実施にあたっては、高校生、大学生など、若者と協力した企画等も行っており、今後、いただいたご意見を参考にしながら、目標実現に向け、このような取組をさらに推進してまいります。	2	①

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）		① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他		
No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
55	「新幹線の一回限り・途中下車」のためのロビー活動をお願いしたい。特に、小倉駅は、鹿児島中央-博多-新大阪の人流をとりこめるポテンシャルは大きい。	総合戦略の中で、「外国人観光客倍増など市外からの観光客増に向けた取組」を施策に掲げております。いただいたご意見につきましては、今後の参考とさせていただきます。	2	③
56	外国人観光客倍増など市外からの観光客増に向けた取り組みについて、最近日本中が爆買現象に代表されるように観光にあやかろうとしている。かつて日本にもここまではいかないような似たような現象があった。北九州市の場合は、観光客がリターンしてくれるような、多様な価値づくりがもっと大切であり、どんな感動と物語を提供できるかが大切だ。	総合戦略の中で、「外国人観光客倍増など市外からの観光客増に向けた取組」を施策に掲げております。その中で、東アジア観光客誘致推進事業などを実施することとしており、いただいたご意見につきましては、事業を進めていく上での参考とさせていただきます。	2	③
Ⅲ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
57	センター等を作って、もっと女性が働きやすくなるように企業に働きかけたり、「北九州市は女性が働きやすい街」というものを目玉にする。もっと若い女性の目線に立っていただき、若い女性にPRできれば、人数は段々増えていくと考える。	総合戦略の中で、「女性の活躍日本一を目指した女性活躍施策の充実」を施策に掲げております。その中で、ご意見のとおり女性活躍推進センターをはじめ、女性の立場にたった施策などは有効と考えますので、総合戦略の事業を進めていく際の参考とさせていただきます。	2	①
58	総合戦略で、女性活躍推進に力を入れていることに興味を抱いた。女性の就業や起業サポートをすることで、安心や住みやすいというイメージをもつことができ、さらに住み続けることで出生率の増にもつながっていくと感じた。	ご意見のとおり目標達成に向けて積極的に事業を推進してまいります。	1	①
59	働く人・企業がともに成長するダイバーシティ経営モデルの構築について、この取り組みが進んでいけば若者たちの定着の選択肢に北九州市は入ってくると思う。	総合戦略の中で、基本的方向として「若い世代の経済的安定が図れる環境を整備、支援する」旨を掲げております。新規卒卒者、若者、中高年齢者など、年代に応じたきめ細かな求人と求職のマッチング支援を行うと同時に、総合戦略や新成長戦略を着実に推進することで、雇用拡大の取組を行うとともに、市民所得の向上や企業の成長を促してまいります。	1	①
60	結婚・妊娠・出産・子育て・教育まで一貫した支援について、結婚して家庭を築けるだけの所得が得られるような就業環境の整備が急務である。		2	①

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
61	第3子を望むにあたり、現在の子育て支援では経済的に厳しい。幼稚園の第3子小学校3年生区切りの制度を撤廃するなど少しでも多く子どもを産めるような多子世帯の保護者負担の軽減など子どもが産みやすい市にしてほしい。	ご意見につきましては、多子世帯の負担軽減をはじめ、多くの世帯が一人でも多くの子どもを生めるよう、総合戦略を進める中で、国の少子化対策の動向も注視しながら、検討してまいります。	2	③
62	医療費控除を小学校1年生4月時点までとするのは、不平等なので、小学校1年生の誕生日まで適用してほしい。	乳幼児等医療費支給制度は福岡県の制度を基準として運用しており、県の制度でも「小学校就学前まで」を助成対象としています。県内の他市町村の制度においても「小学校就学前まで」あるいは「小学校6年生まで」などとされています。このようなことから、本市においても通院助成は「小学校就学前まで」、入院助成は「中学校3年生まで」と、「学年」を基準として運用しているところです。なお、県の制度見直しにあわせ、本市においても、通院医療費の助成対象を小学校6年生まで拡充することを基本に検討しています。（実施時期は、平成28年10月を予定）また、持続可能で安定的な制度とするため、自己負担等のあり方についてもあわせて検討しています。	4	④
63	子育て支援もいろいろあるが、単に親の子育てをサポートするだけでなくしっかりと子どもに教育を与えられる、地域で子どもを育てられる環境を希望する。	総合戦略の中で、「結婚・妊娠・出産・子育て・教育まで一貫した支援」を施策に掲げております。ご意見のとおり子育て環境、教育環境も充実した都市となるよう事業を進めてまいります。	2	①
64	保育園の給食代無料、産前・産後のケアや不妊治療などこれから生まれてくる子供に対して、手厚い補助をしてほしい。	総合戦略の中で、「第3子以降の保育料・保育所入所の優遇などプラス1ベビーの希望が叶う環境整備の検討」を施策に掲げております。ご意見につきましては、総合戦略の事業を進める中で検討してまいります。	2	①
65	日本を支える女性を労働力と考えることも必要だが、自分の子供を育てることも重要である。子育てをする専業主婦が社会からあまり認められていない。子育てをする専業主婦と共働きの主婦をそれぞれ支援する必要がある。仕事を選ばなければ、育児が落ち着いた後も仕事はできる。新聞等で求人倍率が上がっていると報道されているが、実際に就職につながった件数をもとに女性活躍が推進しているかどうか判断するようにしてほしい。	総合戦略の中で、「女性の活躍日本一を目指した女性活躍施策の充実」を施策に掲げております。その中の1つとして、女性活躍推進センターを設置し、女性の就業・就業継続・キャリアアップ・創業などを支援し、女性の活躍を推進してまいります。なお、家庭に専念されている女性、また、女性だけではなく男性も、すべての方が自分の望む形で能力を發揮できる社会となるよう、ご意見につきましては、事業を進める中での参考とさせていただきます。	2	③

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
IV 時代に合った魅力的な都市をつくる				
66	現実とイメージのギャップの解消を目指した日本トップクラスの安全・安心なまちづくりへの取り組みは、地域コミュニティを維持していく中で大切なことだと思う。	総合戦略の中で、「安全・安心な現実を全国に知ってもらうべく、PR作戦を展開及び安全・安心に対する市民意識を高めるための取組の推進」を施策として掲げております。また、戦略に掲げた「市民一斉夜間の安全・安心パトロール」などの取組を通じて、地域住民のきずなや助け合いなど、安全・安心を支える良好な地域社会をつくっていきたくと考えています。	1	①
67	文化芸術の街・北九州の取り組みについて、北九州市では文化が育っているのを感じます。「文化・芸術の街」を目指す取組を応援します。	総合戦略の中で、「文化芸術の街・北九州の取組」を施策として掲げており、今後とも文化芸術の取組を進めていきます。	1	①
68	市内の交通について、都会から若い人が移住することを促すのであれば、公共交通機関でいつでも、どこにでもいける利便性が大事になる。	総合戦略の中で、「環境首都総合交通戦略の推進」を施策に掲げております。その中で、本市での望ましい交通体系を構築することとしており、利便性向上に向けた取組につましても引き続き進めていきます。	2	①
69	国内外から人を惹きつける海峡都市圏の形成（関門連携）について、下関北九州道路の早期実現に向けた取り組みを積極的に進める必要がある。これは両都市圏の交流・連携を強化し、経済・産業分野でのさらなる地域の一体的発展を担うとともに、災害時における代替性を確保するものになることから北九州都市圏と下関都市圏の連携強化の中に「都市圏を結ぶ交通環境の強化」を追加してもらいたい。	ご意見の趣旨につきましては、関門地域で今後連携を強めるために必要性があることですので、総合戦略の中で「都市圏間の交流・連携を支援するネットワークの強化」事業を追加記載させていただきます。	3	②

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）		① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他		
No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
70	門司港レトロ地区周辺の建築制限等の条例づくりをしてもらいたい。観光資源として景観を北九州市・下関市市民の財産とする視点が弱い。高層住宅等でスカイラインを切ってしまう、360度の景観を保護するためにも。かたち・いろ・高さ等においてレトロ地区だけではなくもう少し美しい景観を維持するために条例等で守れないのか。	門司港レトロ地区周辺を含む関門景観は、海峡で結ばれた下関市と共有するかけがえのない財産として、守り将来に継承していくため、現在、両市は共同で関門景観条例を定めています。 さらに、門司港レトロ周辺は北九州市都市景観条例に基づき、本市独自で形態・色彩・高さ等行為の制限を行い、良好な景観の形成・誘導に取り組んでいます。ご指摘の件につきましては、今後の事業の参考にさせていただき、引き続き下関市と共同で関門景観の形成に取り組んでまいります。	4	④
71	滞在時間が短いといわれるレトロ地区から宿泊してもらう工夫をどうするか課題である。感動してもらうモノ、コトをどう組み合わせ、リピーターが生まれる街にするのか、さらには関門にとどまらずストーリー性をもち広域観光の連携のとれる展開を期待する。	総合戦略の中で、「門司港地区やめかり地区の魅力強化、唐戸地区との周遊ルート強化等北九州都市圏と下関都市圏の連携強化」を施策に掲げております。いただいたご意見を含めまして今後の事業の参考とさせていただきます。	2	①
72	公共施設マネジメントは、コンバージョン、リノベーションで利活用を検討していただき、特に市営住宅はこれから先の住宅セーフティネットでの活用や高齢者施設やインキュベータを併設したり、高齢者の働く場所を組み合わせたり、地方出身の大学生のシェアハウスに衣替えることなどが考えられる。	総合戦略の中で施策として掲げられている「公共施設のマネジメント」では、施設の統廃合などにより生じた余剰資産を有効活用することとしています。この公共施設のマネジメントには市営住宅も含まれており、ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	①
73	北九州市の政策に一貫性をもたせるために、総合戦略案に「ストック型社会を目指す具体的方法を検討する」という文言を追加記載していただきたい。	総合戦略の中で、基本的方向として、既存ストックのマネジメント強化や都心部の遊休不動産のリノベーションなどを推進することとしています。	3	③
74	いいものをつくって長く使うという「ストック型社会」形成を考えていく必要がある。また、ローカルメタコンテンツ(埋もれている地域資産)の複合的活用で付加価値をつける検討も重要である。	また、具体的な取り組みとして「⑥人口減少等を踏まえた都市のリノベーションの推進」として、各施策を掲げております。ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	3	③

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）		① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他		
No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
75	リノベーションに力をいれて良い点だと思う。東京オリンピックに伴い、日本への観光客が多くなると思う。最近では、Airbnbやcambioで日本へ旅行にくる外国人が多いと聞いているので、空き家をリノベーションしての貸し出しやゲストハウスにすることで大規模国際大会のキャンプ地の誘致、観光客の誘致にもつながると思う。学生が運営するゲストハウスも魅力的だと思う。その他の施策についても、是非そうやって欲しいしできることは協力していきたい。	総合戦略の中で、「都心の遊休資産をリノベーションなどの手法を活用した有効利用」を施策に掲げております。ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	①
76	シビックプライドの醸成について、現在中年以上の層には浸透していると感じるが、若年層にもこの意識を継承してもらうことが北九州市の発展の支えになると思うので、引き続き注力していただきたい。	総合戦略の中で、若年層に対するシビックプライドの醸成への施策につきましては、北九州市でのロールモデルの中で少年期から高年期までに必要なものとして総合戦略に掲げております。今後とも目標達成に向けて取り組んでまいります。	2	①
77	古き良き時代の精神を継承すること、グローバルな考え方を教育する必要がある。	本市独自の道徳教育用教材を学校の教育活動において効果的に活用するなど、社会に尽くした先人等に尊敬と感謝の念を深め、地域社会の一員として自覚をもって郷土を愛し、郷土の発展に努めようとする心情を高める道徳教育を推進してまいります。また、異文化理解の精神やコミュニケーション能力など、多様なグローバル社会にいかせる資質能力を養うため、国際理解教育や英語教育等を推進してまいります。	4	④
78	総合戦略にスクールヘルパーについて記載されているが、子どもを幼稚園に通わせている中で、そのような方との交流がまったく感じられず残念だ。スクールヘルパーが地域の子育てに関心のある人と定期的につながりをもって子育て中の親にとってとても頼りになる存在となるので非常に重要である。	総合戦略の中で、「市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組の推進」の施策掲げており、「スクールヘルパーの配置」を事業に位置づけています。スクールヘルパーにつきましては、市立の幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高等学校に配置しており、教育活動の支援等を行っています。ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	③

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）

【意見の反映結果】

- ① 総合戦略に掲載済
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
79	P T Aについて、子どもを通わせている保護者だけではなく、子育てに関心がある方も参加できるようにしてもらいたい。また、現在成人した子どもがいるP T A経験者をもつ知識や経験を教育環境の充実のためにもっといかしてもらいたい。	P T Aへの保護者以外の方の加入につきましては、P T Aは任意に設立され会員によって運営される独立した団体であり、会員につきましては、それぞれのP T Aの規約によって規定されています。ご意見につきましては、北九州市P T A協議会にお伝えします。また、P T A経験者の活用につきましては、「家庭教育学級」などのP T A活動で市民センターや地域との繋がりが生まれ、退会後もボランティア活動（生涯学習推進コーディネーター、子育てサポーターなど）をされている方が多くいらっしゃいますので、今後もそのような方々が増えていくよう支援してまいります。	4	④
80	シビックプライドの醸成について、シビックプライドの醸成を図るため、タウンシップ（Town+friendshipの造語）を提唱する。シビックプライドよりも地域に密着しており、北九州発のまちづくりの概念として市内はもちろん全国に発信することで、シビックプライドの醸成に直結する。現在、黒崎地区でタウンシップによる仲間づくり、ひとづくり、新しい地域コミュニティ構築のためのタウンシップスクールを行っている。	シビックプライドの醸成につきましては、「黒崎タウンシップ宣言」等、地域での取り組みが重要と考えています。ご意見のご趣旨につきましては、総合戦略の中で、「都市のコンパクト化の推進と周辺等の交通ネットワークの充実」の施策で、「まちづくり団体等に対する支援」事業を追加記載させていただきます。	3	②
81	シビックプライドの醸成について、黒崎地区で実施している「黒崎タウンシップ宣言」がシビックプライドの先行例として実現することを提案する。		3	②
82	子どもたちが自分の住む地域のことを好きになるような教育環境を作り上げていくことが市のこれからの未来の力になる。質の高い教育サービスがあればそこに自然と人が集まってくる。	総合戦略の中で、「市民総ぐるみで子どもの教育を支える取組の推進」を施策に掲げております。今後も目標達成に向けて積極的に取り組んでまいります。	2	①
V 地方創生推進のための国の施策への対応（特区・税制・政府関係機関誘致など）				
83	「北九州市への企業の本社機能移転強化を促進させるため、福岡県と連携した地方拠点強化税制とともに市税の軽減など積極的なインセンティブを創設」について、本社機能だけでなく、研究開発部門等も含めた意味で「本社機能「等」移転強化」と追加した方が良いのではないかと。	ご意見につきましては、本社機能だけでなく研究開発部門などもありますので、ご意見のとおり「等」を追加記載します。	3	②

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）		① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他		
No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
84	響灘地区の総合開発の促進として、法人税や固定資産税の極端な減税・廃止による企業・工場誘致を提案する。	地方創生による企業拠点の強化は、本市の産業振興の上でも重要な施策であると考えておりますので、ご意見のとおり工場を含めた誘致活動に努めてまいります。 また、固定資産税の軽減につきましては、本社機能等移転等に係るインセンティブの一つとして、税負担の公平性の観点等を踏まえつつ、検討させていただきます。なお、法人税は国税ですので、本市に軽減等の権限がありませんのでご了承ください。	2	①
85	響灘地区の総合開発の促進として、釜山港を念頭にした24時間ハブ化拡大及び利用料の極端な軽減を提案する。	ひびきコンテナターミナルは、環黄海圏のハブポートを目指してオープンしましたが、平成19年に公共化した際にビジネスモデルを見直しました。現在、響灘地区においては、グリーンエネルギーポートひびき事業を推進するなど、柔軟に対応することで港湾施設の利用促進を図っております。 港湾施設の整備や維持管理につきましては、施設の使用料により賄われていることから、港湾施設を良好な状態に保つためには、一定の水準の使用料を徴収することが不可欠です。そのため、使用料を極端に軽減することは困難だと考えています。	2	③
86	響灘地区の総合開発の促進として、カジノなど過去にない事業誘致の規制緩和措置の実施を提案する。	ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	2	③
その他				
87	学生を登用してはどうか。各事業に興味がある学生をメンバーとして登用し、インターンシップのような形で実際に北九州市に関わってもらおう。市政と聞くとどうしても私の思う大人の方のみで行われている印象がある。学生の登用が進めば同年代の活躍をみて、それに感化され他の人も何か変わって、それが市全体として良い方向に向かうと思う。	総合戦略のみならず市政を進めていくにあたっては、学生を含めた様々な方々を参画して事業を実施することは非常に重要なことです。今後も、広く市民の方に参画していただきよりよい事業を進めていけるよう努めてまいります。	4	④

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）		① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他		
No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
88	地域資源をまずは発掘し、それを研磨し、表現(情報発信)する。そういったことは有能な人材に任せればよく、任せていないので成果が出ない。地域のリーダー不在が問題だ。	総合戦略の策定、推進にあたっては、本市の現状などを確実に把握するために調査を実施するとともに、北九州市まち・ひと・しごと創生有識者会議及び産業界、官界、学界、金融機関、労働機関、言論機関に住民代表を加えた北九州市まち・ひと・しごと創生推進協議会を設置し様々な意見をいただきオール北九州で総合戦略を推進することとしております。今後とも本計画を効率的かつ着実に推進していきたいと考えています。	4	④
89	行政の資金配分が全体的に薄く広くばらまいため、本当に地域を活性化できる組織・人に十分な資金が流れないと思う。	ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	4	④
90	黒崎から洞海湾、若松の海まで連なる橋とバイパスを作り、その周辺にまとまった土地を確保し、おしゃれなビジネス街と自然の空間をバランスよく配置し、大学、専門学校、リゾートホテル、小さな子ども向けの遊園地、スポーツ施設等誘致してはどうか。	ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	4	④
91	公立幼稚園の閉園の動きがあるが幼児期の教育はとても大切なので、教育の専門機関をなくさないでほしい。子育てしやすい環境づくりのためには公立幼稚園の充実を希望する。	現在、市内の幼稚園児の約98%が私立幼稚園に通っており、園児一人当たりの本市財政負担額は、公立の105万円に対し、私立は12万円（平成26年度決算）と、公私間での格差が大きくなっています。また、北九州市行財政改革大綱の民間にできることは民間に委ねるとの方針を踏まえ、現在の8園から4園体制へ見直すこととしました。今後、存続する4園では、幼児教育の課題解決のための教育・研究実践に取り組み、本市全体の幼児教育の充実を図り、子育てしやすい環境づくりに努めてまいりたいと考えています。	4	④
92	市内中・高校生による劇団を作り、北九州市の歴史に基づく内容のミュージカル上演を行ってはどうか。具体的には、八幡東区に世界遺産認定ホール（劇場）を造り、世界遺産認定記念と銘打って、北九州の歴史を題材にした脚本とし、市内の中・高校生からメンバーを募集しその作った劇場で公演する。そうすることでシビックプライドの醸成にもつながる。	ご意見につきましては、今後の取り組みの参考とさせていただきます。	4	④

北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)に対する意見と市の考え方

【意見の内容】		【意見の反映結果】		
1 総合戦略の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見 2 総合戦略の今後の進め方等に対する考えを述べた意見 3 総合戦略の内容や表現に対して追加や修正を求める意見 4 その他の意見（他の分野別計画等で取り扱うべき内容の意見等）		① 総合戦略に掲載済 ② 追加・修正あり ③ 追加・修正なし ④ その他		
No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
93	障害のある方が自由に外出できるように、飲食店のバリアフリー化を促進してもらいたい。そのために、その費用の助成を促進すべき。	本市では、飲食店の他、多数の市民等が利用する一定規模以上の建築物につきまして、バリアフリー法や福岡県福祉のまちづくり条例に基づき、バリアフリー化を促進しています。 また、障害のある人が外出する際の移動支援事業等の支援を、今後とも行ってまいります。	4	④
94	市役所業務経験者を対象に登録制、フレックス制度などを活用した病院にかかりながらも働くことのできる環境を整備していただきたい。	市職員の採用については、受験資格を含め平等・公平に行う必要があり、市役所業務経験者に限った雇用制度を作ることはできません。 一方、職員の雇用形態は、正規職員、嘱託員、臨時職員があり勤務条件も様々です。それぞれに各種休暇制度も設けており、中には病院にかかりながら働いている職員もおります。 引き続き、ワーク・ライフ・バランスを推進し、働きやすい職場環境づくりに努めてまいります。	4	④
95	市の補助金事業を予算内で終了し余剰金を返金したら、何かメリットがあるようにしてほしい。	ご意見として承ります。	4	④
96	JRA小倉競馬場を東海地区への移設を要望する。そして、跡地を企業誘致に活用していただきたい。	ご意見として承ります。	4	④
97	自動車免許の更新を各区で行えるようにしてもらいたい。	ご意見として承ります。	4	④